

解釈による集団的自衛権行使、立法による平和憲法の空洞化、 憲法改悪と憲法改悪につながる憲法第 96 条改定に反対し、 憲法を暮らし・仕事に生かすことを求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

日本国憲法は、過去の戦争の教訓と反省から、憲法前文に国民主権、不戦の誓い、平和的生存権などを掲げ、理想とその目的達成ために全力をあげてとりくむ決意をのべ、憲法第 9 条などを定めています。しかし、憲法 9 条を変え、自衛隊を政府の意のままに海外に送り出せるようにし、自由や人権を制限し、日本を再び「戦争する国」にしようとする動きが強まっています。私たちは、このような憲法改悪の動きを受け入れることはできません。

【請願事項】

1. 集団的自衛権行使は、日本国憲法に違反します。集団的自衛権行使を日本国憲法によってできないことの国会決議を求めます。
2. 内閣を軍事司令部とし、国民の暮らしと命を危険にさらす国家安全保障会議の一部改正法案は、ただちに取り下げを求めます。
3. 日本国民を危険にさらすアメリカ軍のオスプレイとアメリカ軍基地の撤去、自衛隊のオスプレイ配備計画をただちに撤回することを求めます。
4. 秘密保全法などは、戦争しない国、戦争できない国には必要ありません。内閣に対して、ただちに同法案などの検討をやめることを求めてください。
5. 日本国憲法は、日本と世界の人々にとって宝です。日本国憲法の改定につながる第 96 条の改定に反対します。
6. 日本国憲法を暮らしと仕事に生かし、日本国民と世界の人々が幸福に生きられる制度・政策を求めます。

名 前	住 所

取扱い団体 東京土建一般労働組合

東京都新宿区北新宿 1-8-16

2013.08.29 作成